

上場会社名 SANEI株式会社 上場取引所  
コード番号 6230 URL <https://www.sanei.ltd/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西岡利明  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 新田裕二 (TEL) 06-6972-5955  
定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月4日  
有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	28,465	3.4	1,883	△4.6	1,842	△6.7	1,254	△7.0
2024年3月期	27,532	3.6	1,975	117.9	1,973	117.8	1,348	113.9

(注) 包括利益 2025年3月期 1,233百万円(△15.2%) 2024年3月期 1,455百万円(91.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	274.03	—	9.2	7.6	6.6
2024年3月期	294.56	—	10.8	8.3	7.2

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	24,366	14,689	58.3	3,102.14
2024年3月期	24,218	13,727	54.2	2,867.32

(参考) 自己資本 2025年3月期 14,201百万円 2024年3月期 13,126百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純資産を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,679	△1,357	△363	1,453
2024年3月期	331	△1,126	40	1,497

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			%	%
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円			
2024年3月期	—	49.00	—	59.00	108.00	247	18.3	2.0	
2025年3月期	—	60.00	—	30.00	—	274	21.9	2.0	
2026年3月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00		20.2		

(参考) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 49円00銭 記念配当 10円00銭  
2025年3月期中間配当金の内訳 普通配当 55円00銭 記念配当 5円00銭

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
2025年3月期の第2四半期末配当は当該株式分割前の金額を、期末配当は当該株式分割後の金額を、それぞれ記載しております。また、年間の合計につきましては、株式分割により単純比較ができないため表示しておりません。  
なお、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり年間配当金は以下のとおりとなります。

2024年3月期 54円00銭  
2025年3月期 60円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	6.8	950	43.4	950	54.5	650	38.5	141.98
通期	30,000	5.4	2,200	16.8	2,200	19.4	1,450	15.6	316.73

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.14「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期	4,578,000株	2024年3月期	4,578,000株
2025年3月期	152株	2024年3月期	152株
2025年3月期	4,577,848株	2024年3月期	4,577,863株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	26,783	4.4	1,923	1.5	1,943	1.1	1,293	△1.5
2024年3月期	25,655	4.7	1,895	118.9	1,922	113.3	1,312	88.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	282.64		—					
2024年3月期	286.81		—					

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	21,437	13,322	62.1	2,910.14
2024年3月期	21,178	12,315	58.2	2,690.26

(参考) 自己資本 2025年3月期 13,322百万円 2024年3月期 12,315百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### ① 経営成績の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費や民間企業設備投資の増加などを背景に、景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、米国の関税政策による影響、継続的な物価上昇や人件費の高まりを受けたコストの増加、人手不足の深刻化への懸念等、先行きは依然として不透明な状況です。

一方、当社の需要と関係の深い新設住宅着工戸数は、4月～3月までの累計で81万6千戸（前年比2.0%増）となりました。（参照：国土交通省e-Stat政府統計の総合窓口「建築着工統計調査報告」）

このような状況の中、当社グループは「人類ある限り水は必要である」の理念を実践し、自然や社会と調和したより快適で心地よい水まわり空間の提案に注力し、既成概念にとらわれることなく、「水をデザインする」S A N E I ブランドの更なる向上に取り組んでまいりました。2024年5月には名古屋市西区に開発本部「R&Dセンター」を開設、2024年6月には当社の主力工場である岐阜工場に新工場棟が竣工しました。開発・製造拠点の強化を進め、人と水が交わる新しい生活スタイルを提案できるものづくりに取り組んでおります。

これらの結果、当社グループの当第連結会計年度における連結業績につきましては、売上高はウルトラファインバブル製品や洗面化粧台用混合栓を中心とした高機能・高付加価値製品の販売拡大、販売価格改定の浸透により堅調に推移しましたが、住宅市場の落ち込みによる需要の低迷もあり、284億65百万円（前年同期比3.4%増）となりました。一方、利益面では、急激な為替変動の影響等により原材料・仕入価格が想定以上に高騰したことに加え、創業70周年記念に関連する費用が一時的に増加したため、営業利益は18億83百万円（前年同期比4.6%減）、経常利益は18億42百万円（前年同期比6.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は12億54百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

##### ② 財政状態の分析

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加し、243億66百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ2億40百万円減少し、156億18百万円となりました。これは主に、棚卸資産が8億88百万円減少した一方、売上債権が6億28百万円増加したことによります。固定資産は前連結会計年度末に比べ3億88百万円増加し、87億48百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が5億60百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億12百万円減少し、96億77百万円となりました。これは主に、仕入債務が3億3百万円減少、借入金が1億25百万円減少、未払法人税等が2億6百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億61百万円増加し、146億89百万円となりました。この結果、自己資本比率は58.3%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、14億53百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億79百万円の収入（前年同期比13億48百万円の収入増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益18億22百万円、減価償却費6億43百万円、棚卸資産の減少額9億6百万円、売上債権の増加額6億28百万円、法人税等の支払額8億12百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億57百万円の支出（前年同期比2億30百万円の支出増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12億36百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億63百万円の支出（前年同期は40百万円の収入）となりました。これは主に、借入金の純減による支出89百万円、配当金の支払額2億72百万円によるものです。

### (4) 今後の見通し

2025年は、アメリカ大統領による関税政策の実施や、それに伴う貿易戦争への懸念が高まる中、世界経済の先行きも不透明さを増しています。当社グループの業績に関わる銅価格やエネルギーコストの上昇も続き、日本ではこれまで長らく続いた円安ドル高から一変した円高ドル安の傾向が経済に影響を与えています。

一方で、インバウンド需要の持ち直しは明るい材料となりました。4月13日に開幕した大阪・関西万博は半年間に渡って開催され、世界各国から技術や人々の交流が繰り広げられます。当社も会場整備においてブロンズパートナーとして、会場内の各所に設置されている休憩所やトイレなどの手洗い施設にセンサー水栓（自動水栓）などを提供し、ご来場になる皆さまが快適に過ごしていただけるよう協賛参加します。

また、4月よりセレッソ大阪のメインスタジアムである「ヨドコウ桜スタジアム」とパートナー契約を締結し、メインスタンドに看板を掲示する運びとなりました。大阪・関西がひとつになって世の中全体を盛り上げていけるよう努めております。

生産体制につきましては、昨年は当社主力工場である岐阜工場に新工場棟(第1工場)を建設し、社員食堂も併設した活気あふれる工場となりました。本年は組立工場(第2工場)の建て替えを計画し、工場の自動化・バリアフリー化を推進し、生産拠点の更なる効率化を進めております。また、太陽光発電を採用したインフラ設備などの導入により、CO2排出量を削減することによってカーボンニュートラルの達成を目指し、「地球や環境にやさしいモノづくり」の実現に向け、事業活動を推進してまいります。

研究・開発面につきましては、当社グループの強みであるデザイン性をさらに追求し、水の音、流れる姿、手に伝わる感覚に至るまで、意匠・仕上げ精度・使用感すべてにおいて最上級にふさわしいものづくりへの挑戦を続けています。さらにセンサーやAIといった新しいテクノロジーと、人の手と感度によって仕上げる熟練技能を組み合わせることで、SANEIブランドのさらなる価値向上を目指してまいります。

社会・地域への貢献活動としましては、主力生産拠点である岐阜工場において、「岐阜県地球温暖化防止活動推進センター」様主催の「地球温暖化防止教室」や、岐阜県各務原市主催の子供たちに工場をオンラインで見学してもらう「オンライン寺子屋事業」へ参画しました。また岐阜県社会福祉事業団「ひまわりの丘障害者就業・生活支援センター」様主催の「障がい者雇用先進事業所見学研修会」に参画しております。これからも社会・地域の皆さまと喜びや学びを共有し、持続的な発展を目指してまいります。

2026年3月期の業績予想につきましては、売上高は、第2四半期（累計）では145億円（前年比6.8%増）、通期では300億円（前年比5.4%増）の見通しであります。利益につきましては、第2四半期（累計）では、営業利益9億50百万円（前年比43.4%増）、経常利益9億50百万円（前年比54.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億50百万円（前年比38.5%増）の見通しであります。一方、通期では営業利益22億円（前年比16.8%増）、経常利益22億円（前年比19.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益14億50百万円（前年比15.6%増）の見通しであります。需要変動に迅速に対応できる柔軟で効率的な生産体制や物流体制の構築により、強固な収益基盤を確立してまいります。

当社は、資本コストや株価を意識した経営を強化し、株主価値の最大化に努めています。その中で、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけ、業績や将来の資金需要などを総合的に考慮しつつ、年2回の累進配当を実施することを基本方針としております。

2025年3月期の配当につきましては、上記方針に基づき2024年9月30日に中間配当として1株当たり30円00銭（創業70周年記念配当2円50銭を含む）を実施しており、期末配当については1株当たり30円00銭の配当を実施することを決議し、1株当たり年60円00銭の剰余金の配当となりました。これにより、2017年3月期より9年連続の増配となっております。

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の中間の1株当たり配当金30円00銭及び年間の1株当たり配当金60円00銭につきましては、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

なお、2026年3月期の配当予想につきましては、通期業績予想及び財政状態予想、過去の配当性向や配当利回り等を勘案し、中間配当金を1株当たり32円00銭、期末配当金を1株当たり32円00銭、中間配当金を含めました年間配当金は、1株当たり64円00銭とさせていただく予定です。これにより、10年連続の増配となる予定です。

株主の皆様に対する利益還元、社会に対する還元、将来の成長に必要となる投資や内部留保などをバランスよく進めてまいります。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えすべく、収益向上に努めてまいります。



(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2026年3月期(予想)	32円00銭	32円00銭	64円00銭
2025年3月期	30円00銭 (普通配当27円50銭) (記念配当2円50銭)	30円00銭	60円00銭
2024年3月期	24円50銭	29円50銭 (普通配当24円50銭) (記念配当5円00銭)	54円00銭
2023年3月期	24円00銭	24円00銭	48円00銭
2022年3月期	22円50銭	23円50銭 (普通配当22円50銭) (記念配当1円00銭)	46円00銭
2021年3月期	15円00銭	22円50銭 (普通配当15円00銭) (記念配当7円50銭)	37円50銭
2020年3月期	7円50銭	15円00銭	22円50銭
2019年3月期	7円50銭	7円50銭	15円00銭
2018年3月期	5円00銭	7円50銭	12円50銭
2017年3月期	2円50銭	5円00銭	7円50銭

- (注) 1. 2020年1月2日付で株式1株につき10株の株式分割を行っております。また、2024年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記表では2017年3月期の期首に当該株式分割が全て行われたと仮定して算定しております。
2. 2021年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当15円00銭・東証二部市場上場記念配当7円50銭となっております。
3. 2022年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当22円50銭・株式上場1周年の記念配当1円00銭となっております。
4. 2024年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当24円50銭・創業70周年の記念配当5円00銭となっております。
5. 2025年3月期 中間配当金の内訳は、普通配当27円50銭・創業70周年の記念配当2円50銭となっております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,190,489	2,155,225
受取手形	529,571	512,582
電子記録債権	2,159,348	3,013,908
売掛金	4,399,180	4,190,276
商品及び製品	3,465,135	2,764,183
仕掛品	656,615	557,220
原材料及び貯蔵品	2,165,515	2,077,444
その他	296,487	350,398
貸倒引当金	△4,095	△3,129
流動資産合計	15,858,248	15,618,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,190,800	2,751,302
機械装置及び運搬具（純額）	678,486	698,198
工具、器具及び備品（純額）	353,310	331,620
土地	2,473,053	2,434,611
建設仮勘定	342,529	186,814
有形固定資産合計	6,038,181	6,402,547
無形固定資産		
ソフトウェア	123,527	111,792
リース資産	1,152	-
その他	50,112	48,333
無形固定資産合計	174,792	160,125
投資その他の資産		
投資有価証券	392,279	484,999
長期貸付金	872	968
繰延税金資産	775,883	720,541
その他	981,717	982,083
貸倒引当金	△3,813	△2,486
投資その他の資産合計	2,146,939	2,186,107
固定資産合計	8,359,913	8,748,779
資産合計	24,218,161	24,366,890



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,508,242	1,479,612
電子記録債務	2,067,558	1,793,057
短期借入金	1,438,000	1,610,000
1年内返済予定の長期借入金	384,129	311,688
リース債務	1,267	-
未払法人税等	564,114	358,062
賞与引当金	405,102	380,443
その他	1,146,311	1,043,270
流動負債合計	7,514,725	6,976,134
固定負債		
長期借入金	1,099,291	873,859
役員退職慰労引当金	640,835	584,268
退職給付に係る負債	1,159,989	1,139,318
資産除去債務	40,097	40,407
繰延税金負債	-	26,726
その他	35,300	37,000
固定負債合計	2,975,513	2,701,580
負債合計	10,490,238	9,677,714
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	432,757	432,757
資本剰余金	456,277	456,277
利益剰余金	11,828,720	12,810,801
自己株式	△228	△228
株主資本合計	12,717,527	13,699,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,952	108,781
為替換算調整勘定	230,352	307,565
退職給付に係る調整累計額	56,321	85,191
その他の包括利益累計額合計	408,626	501,539
非支配株主持分	601,768	488,028
純資産合計	13,727,923	14,689,176
負債純資産合計	24,218,161	24,366,890

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	27,532,749	28,465,447
売上原価	18,903,519	19,522,674
売上総利益	8,629,230	8,942,773
販売費及び一般管理費	6,653,781	7,058,974
営業利益	1,975,448	1,883,799
営業外収益		
受取利息	3,079	3,143
受取配当金	7,503	8,829
仕入割引	6,364	2,335
補助金収入	585	100
その他	19,012	20,902
営業外収益合計	36,545	35,311
営業外費用		
支払利息	10,126	14,777
手形売却損	1,616	5,303
為替差損	18,524	52,501
その他	8,066	4,237
営業外費用合計	38,334	76,820
経常利益	1,973,660	1,842,289
特別利益		
固定資産売却益	7,554	4,098
投資有価証券売却益	3,048	100
債務免除益	-	36,000
特別利益合計	10,603	40,199
特別損失		
固定資産売却損	662	1,983
固定資産除却損	24,360	58,132
特別損失合計	25,023	60,116
税金等調整前当期純利益	1,959,239	1,822,372
法人税、住民税及び事業税	623,154	615,526
法人税等調整額	8,437	69,788
法人税等合計	631,591	685,314
当期純利益	1,327,647	1,137,057
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△20,820	△117,405
親会社株主に帰属する当期純利益	1,348,468	1,254,463

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,327,647	1,137,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,623	△9,141
為替換算調整勘定	36,670	77,213
退職給付に係る調整額	28,185	28,870
その他の包括利益合計	127,479	96,941
包括利益	1,455,127	1,233,999
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,474,828	1,347,305
非支配株主に係る包括利益	△19,701	△113,305

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	432,757	456,277	10,702,279	△108	11,591,206
当期変動額					
剰余金の配当			△222,027		△222,027
親会社株主に帰属する当期純利益			1,348,468		1,348,468
自己株式の取得				△119	△119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,126,440	△119	1,126,321
当期末残高	432,757	456,277	11,828,720	△228	12,717,527

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	60,448	193,681	28,136	282,266	622,198	12,495,670
当期変動額						
剰余金の配当						△222,027
親会社株主に帰属する当期純利益						1,348,468
自己株式の取得						△119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	61,504	36,670	28,185	126,360	△20,429	105,930
当期変動額合計	61,504	36,670	28,185	126,360	△20,429	1,232,252
当期末残高	121,952	230,352	56,321	408,626	601,768	13,727,923

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	432,757	456,277	11,828,720	△228	12,717,527
当期変動額					
剰余金の配当			△272,381		△272,381
親会社株主に帰属する当期純利益			1,254,463		1,254,463
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	982,081	-	982,081
当期末残高	432,757	456,277	12,810,801	△228	13,699,608

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	121,952	230,352	56,321	408,626	601,768	13,727,923
当期変動額						
剰余金の配当						△272,381
親会社株主に帰属する当期純利益						1,254,463
自己株式の取得						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△13,171	77,213	28,870	92,912	△113,740	△20,827
当期変動額合計	△13,171	77,213	28,870	92,912	△113,740	961,253
当期末残高	108,781	307,565	85,191	501,539	488,028	14,689,176

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,959,239	1,822,372
減価償却費	643,176	643,308
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,522	△2,293
受取利息及び受取配当金	△10,582	△11,973
支払利息	10,126	14,777
為替差損益 (△は益)	△1,980	35,894
債務免除益	-	△36,000
固定資産売却損益 (△は益)	△6,891	△2,115
固定資産除却損	24,360	58,132
売上債権の増減額 (△は増加)	△122,481	△628,604
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△778,819	906,725
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,464,622	△303,428
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,048	△100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,336	△24,659
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	27,508	△56,567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△37,925	22,154
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△49,544	194,258
その他	173,927	△136,297
小計	358,583	2,495,584
利息及び配当金の受取額	10,582	11,973
利息の支払額	△10,727	△14,812
法人税等の支払額	△26,940	△812,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,498	1,679,766
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△3,502	△9,613
有形固定資産の取得による支出	△1,081,893	△1,236,338
有形固定資産の売却による収入	7,895	69,108
無形固定資産の取得による支出	△21,851	△30,223
投資有価証券の取得による支出	△24,782	△106,188
投資有価証券の売却による収入	17,635	1,951
貸付けによる支出	-	△850
貸付金の回収による収入	695	914
保険積立金の積立による支出	△13,249	△13,306
その他	△7,567	△33,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,126,621	△1,357,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	52,000	172,000
長期借入れによる収入	700,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△486,819	△461,873
自己株式の取得による支出	△119	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,689	△1,267
配当金の支払額	△222,027	△272,381
非支配株主への配当金の支払額	△728	△364
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,616	△363,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,088	△3,169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△749,417	△44,878
現金及び現金同等物の期首残高	2,247,369	1,497,952
現金及び現金同等物の期末残高	1,497,952	1,453,074



## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、水栓金具事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,867円32銭	3,102円14銭
1株当たり当期純利益金額	294円56銭	274円03銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,348,468	1,254,463
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,348,468	1,254,463
普通株式の期中平均株式数(株)	4,577,863	4,577,848

(重要な後発事象)

該当事項はありません。